平成31(2019)年度　江戸川区立瑞江第二中学校　学校関係者評価　最終評価用報告書

学校教育目標	自立・貢献・生き抜く力	目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	安心して登校し、安全に生活し、満足して下校できる学校 ①確かな学力　②豊かなこころ・人間性　③健康な体づくり ①限られた時間を最大限活用　②厳しさの中にも優しさ　③服務の厳正　④向上心・授業改善
前年度までの学校経営上の成果と課題	＜成果＞落ち着いた学習環境を創りあげ、学びの協同体を進め、全教科でグループ学習を取り入れ、生徒同士の学び合いを実施できた。ESDカレンダーを年度当初作成し、　教科を横断した生徒に身につけさせたい力を明らかにして、授業実践できた。 ＜課題＞学び合い学習のルールを生徒にも意識させて、より定着を図ること。働き方改革を進め、効率のよい運営を図ること。		

教育委員会重点課題	取組項目	評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		来年度に向けた改善策
					取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
特色ある教育の展開	小中連携教育の推進	「小中連携教育構想」及び「各教科等の連携教育プログラム」による連携の充実	小中授業公開、学校説明会、部活動見学会の実施	予定通り実施する。	A	A	○授業公開や小学校へ行って教科間の連携や小中の課題について情報共有できた。	A	以前PTA役員の小中(二中・下小・西小)協議会を行っていた。適切に運営していってほしい。	行事等で齟齬がでないよう適切に運営する。
教員の資質向上	教員研修の充実	ICTアシスタントによる校内研修の実施によるICTを活用した教員の授業力の向上	情報推進研修の実施、普通教室設置プロジェクターの使用研修の実施	予定通り実施する。	A	A	○教室に設置されたプロジェクターを活用して、視覚効果を上げた授業の実践が進められた。	A	PTAのOB会が寄贈した2台のプロジェクターが活躍していると思います。更に良い形で進めていってほしい。	研修を積んでしっかりと推進していく。
	特別支援教育の推進	校内委員会の活性化を図ることなどによる指導・支援の充実	校内支援委員会の毎週の実施と渉外施設との連携	毎週の部会欠かさずに行う。	A	B	○委員会の情報共有によって、指導に当たれている。	A		
いきいきと学ぶ教育の充実	確かな学力の向上	「確かな学力向上推進プラン」の実施・改善や補習の実施などによる指導の充実と授業力の向上	学びの協同体の推進校視察と校内研修、研究授業と同教科の授業参観で評価し合っている。	全国や東京都の調査の平均を超える。	A	B	●身に付けたい力が各教科でわずかずつ都の平均を下回った。学びの協同体を更に進めていく。	B	補修教室など学力補充は大切です。生徒に基礎学力をつけられるように期待します。	意欲だけでなく、基礎学力の向上を毎時間の授業で身に付けさせる。
	読書科の更なる充実	学校図書館の整備・活用の推進や探究的な学習の充実	図書室の整備、蔵書枠の範囲内で新刊購入による本の入れ替え進めている。	利用しやすい図書室と答える生徒50%以上	B	A	○探求的な学習を実現するために利用しやすい図書室に向けて図書の整理が進められた。	A	図書委員の方の手助けも役に立ったと思います。利用しやすい図書室を目指してほしい。	図書室と並行して、読書活動を進めていく。
	体力の向上	体育の授業や休み時間における主体的な運動の実施による運動意欲の向上	導入時の基礎体力作りの補強昼休み時校庭遊びの奨励	体力テストで昨年の自分より伸ばす。	A	A	○体育の実践だけでなく、アスリートの講演や実技指導で意識が控除できた。	A	アスリートの講演はよかったと思います。	オリンピックイヤーに生徒の意識を高められるようにしてほしい。
	オリパラ教育の推進	「オリンピック・パラリンピックレガシー創造プラン」に基づく取組やオリパラコーナーの充実	昨年までのものに今年度の講演者からの色紙を加えられた。	予定通り実施する。	A	A	○講演会等で自身の健康や生活に気を付ける意識が向上できた。	A	アスリートの講演はよかったと思います。	オリンピックイヤーに生徒の意識を高められるようにしてほしい。
	外国語教育の推進	授業力の向上とALTの効果的な活用	複数教員の報連相を取りながら、ALTによるパフォーマンステストの実施	学習意欲を保ちつつ、東京都や全国学力調査の平均を超える。	A	B	○生徒の意欲向上を図りながらALTの活用が実施できた。	B		意欲だけでなく、基礎学力の向上を毎時間の授業で身に付けさせる。